



学校・家庭・地域をつなぐ

# らいいん

子どもを育む活動情報紙

No. 127

2026.1月

春日市コミュニティ・スクール 二十周年

二十歳のつどい実行委員会

## 実行委員にインタビュー

― 地域で育った私たち ―



令和8年二十歳のつどい実行委員の皆さん

二十歳の皆さん、おめでとうございます。皆さんが生まれた年に春日市に導入されたコミュニティ・スクールが、今年度で二十周年になります。そこで、令和八年二十歳のつどい実行委員の皆さんに、印象に残っている地域の人たちとの関わりについて伺いました。

「やりたい人がやりたいことをやったらいいよ」と言ってもらったことがきっかけで、主体的に関わるようになりました。  
自治会のふれあいサロンを訪ねた時に知り合ったおばあちゃん、今でも道で会ったら気軽に声をかけてくれます。

(Aさん) 地域の方々が教えてくれた料理教室、ゆかたの着付け教室、しめ縄・門松づくりをよく覚えていきます。小学生の頃から遊びに行っていた子ども食堂には、今でもお手伝いで参加しています。

― 小・中学生の時に地域の人たちと関わったり、地域行事に参加・参画した経験が、今の自分に繋がっていたり、生きていると感じることはありますか。

(Bさん) おやじの会主催の段ボールハウスで学校に泊まったことです。当時低学年だった自分にとってはずいぶん良かったです。

(Aさん) 子ども食堂は公民館で行われているので、災害時に役に立つと感じています。例えば炊き出しをするとき、道具の場所や使い方がすぐに分かる。また、幅広い年齢層と顔見知りになったので、何かあった時の安心感に繋がっています。

子ども会では公民館の裏山でのタケノコ掘りが楽しかったです。五年生からは自分たちで夏祭りを企画するようになりました。中学生のときには地域親善大使として中学生ボランティアと地域を繋ぐ役割を担いました。

(Bさん) 小さいときから大人と近い距離で遊んでもらっていたので、人懐っこさも、そこからもらった気がします。子ども会のリーダー研修では、自主性を鍛えられました。

(Cさん) 私が住んでいる自治会は、いろいろ楽しい企画をしてくれています。地域行事が盛んになったきっかけは、「つな引き」だと思っています。二十四時間テレビに出演して、とても盛り上がりました。つな引きでお世話になった地域の方々

(Dさん) 子ども会のリーダー研修に参加して、時間管理の大切さを学びました。

は、今でも必ず夏祭りや小学校の運動会を手伝っている姿を見かけます。  
中学校の部伍会で夏祭りのお手伝いをしたときは、地域の方から

地域の方々を思い浮かべながら語る皆さんの柔らかな表情が印象的で、こちらも温かい気持ちになりました。皆さんの益々の活躍を期待しています。

地域の輪（和）、人と人との輪（和）をつなぐという意味を込めて名づけた“らいいん”。市内各地区の活動を地域教育課職員が取材し、発信します。

春日市教育委員会地域教育課 Tel : 092-981-0101 Fax : 092-584-1153



▲市ウェブサイト

## 春日中 校区

# すぐっ子アンビシャス広場「バドミントン」



▲バドミントンの練習の様子

須玖小学校体育館で5月から2月までの第3土曜日（計7回）に開催されているすぐっ子アンビシャス広場「バドミントン」。講師は、春日市バドミントン協会のほか、春日中バドミントン部顧問の先生がボランティアで子どもたちの練習相手になってくださっています。

この日は、準備体操の後、ラリーができる子とできない子に分けて、休憩を挟みながら約2時間、打ち合いの練習をしました。

高学年の児童は、「友だちとも会えるし、バドミントンは楽しい」「来年は学校のクラブにも入りたい」と話してくれました。

## 春日東中 校区

### 春日東小学校PTA

# 東っ子イベント「風船運びゲーム」



▲風船を運ぶ親子

9月26日（金）、春日東小学校では授業参観後の5時間目にPTAによるイベントが行われました。

1年生から5年生までは各教室で「ぼいぼいゲーム」、6年生は多目的ホールで保護者62名と一緒に「クラス対抗風船運びゲーム」で盛り上がりました。

「風船運びゲーム」は、児童と保護者が協力して風船を落とさないようにリレーで運ぶゲーム。最後に担任の先生がお尻で風船を割ってゴールすると、1位の6年4組からは大歓声が上がりました。

PTA会長の田中さんは「保護者との楽しい思い出になってくれたら嬉しい」と想いを語りました。

## 春日西中 校区

# 下白水南アンビシャス広場「アナログゲーム<sup>プラス</sup>」



▲アナログゲームを楽しむ様子

下白水南公民館では、土曜日の月1～2回、ボードゲームやカードゲームで自由に遊ぶことができるアンビシャス広場「アナログゲーム+（プラス）」が開催されています。

定番のオセロやカルタの他にも、最近話題の新しいボードゲームなどが20種類以上あり、子どもはもちろん、付き添いで来ていた保護者も、気がつけば一緒に夢中になって遊んでいます。晴れた日には隣の公園でモルックをすることもあります。

アナログゲームを通して、見知らぬ人同士や大人・子どもの垣根を越えたコミュニケーションが生まれています。

## 春日南中 校区

# 天神山小学校 PTA 「天小フェスタ」



▲クリスマスリースづくりの様子

12月13日(土)、天神山小学校では参観・給食後の放課後にPTA主催「天小フェスタ」が行われました。

全児童・保護者が自由に参加できるこの行事は、PTAフェスタ役員をはじめとする総計140名以上のボランティア協力のもと開催されました。

この日は、大工棟上げ体験やクリスマスリースづくりといったさまざまなワークショップ、模擬店やゲームなどがあり、会場は大いににぎわいました。

また、ワークショップの体験後に手伝いを申し出る児童の姿が見られ、日頃から育まれている主体性を感じることができました。

## 春日野中 校区

# 春日野小学校 三者連携カリキュラム「中学生の読み聞かせ」 (※1)



▲読み聞かせをする中学生 出典:『クリスマスの おぼけ』(ポプラ社)  
作・絵/せな けいこ

春日野小学校では、年に2回、中学校の振替休日を利用して、中学生が読み聞かせをしています。

12月22日(月)、春日野中学校の1年生から3年生18名が参加。クリスマスにちなんだ本や、言葉遊びの本などを読んで聞かせました。小学生の反応を見ながら途中で雑談を挟んだり、登場人物ごとに声を変えたりしながら本を読み、小学生をお話の世界に引き込んでいました。

参加した中学生は、「小学生の時に読み聞かせを楽しみにしていたので参加した。小学生が楽しそうに聞いてくれて嬉しかった」と話してくれました。

※1 三者連携カリキュラム：地域や保護者と連携・協働した授業

## 春日北中 校区

# 日の出町地区公民館「子ども茶道教室」



▲お点前の様子

日の出町地区公民館で月に1回開催されている茶道教室。小中学生と大人が交流しながら、楽しく日本の伝統文化を体験する場になっています。

始めに、茶室に季節のお花を飾り、お点前に使うお抹茶や道具、お菓子を準備します。子どもたちは、お茶の点て方、いただき方はもちろんのこと、おじぎの仕方、畳の歩き方などを一つ一つ丁寧に教えてもらっていました。

茶道教室に参加して3年目の小学生は、「まだまだ難しい」と笑顔で話しつつ、美しい所作を見せてくれました。

指導者の池田さんは、「ここでの体験が、少しでも子どもたちの心に残ってくれたら嬉しいです」と目を細めていました。

## 地域コーディネーターの活動を紹介します！

白水小地域コーディネーター

さかがみ まきこ いさがり みき  
坂上 真紀子さん・飯盛 美樹さんに

お話を伺いました

こんにちは！私たちは白水小学校の地域コーディネーターです。充実した地域学校協働活動が行われるよう、学校・家庭・地域をつなぐ役割をさせていただきます。

学校でも地域でも、『会って話す』対話を大切に、丁寧に話し合いをすることに努めています。

今年度は福岡教育事務所主催の『学校を核としたつながりづくりセミナー』で、地域コーディネーターの役割を発表する機会をいただきました。手探りで進めてきた活動が、年数を重ねながら形になり整理されてきたことを実感しています。

2月には初めての試みで、保護者向けにウトグチ瓦窯跡についてのミニ講座を企画しています。子どもたちが学んでいる地域のことを、保護者の皆さんにも体験してもらいたいと思っています。

今後も子どもたちの成長のために力を尽くしてくださる地域の学校応援団の皆様にご感謝の気持ちを伝えながら、三者をつなぐ活動をすすめて参ります。



▲異学年チームウォークラリー



▲飯盛さんと坂上さん



▲紫蘇ジュースづくり



▲地域のごみ減らし隊（自治会長の講話）

## 第2回「かすがアンビネット」～身近な材料で作って遊べる簡単工作～

11月26日（水）、春日市役所大会議室において、令和7年度第2回「かすがアンビネット」を開催しました。

「かすがアンビネット」は、春日市放課後子供教室（通称アンビシャス広場）関係者や、地域で子どもを育てる活動に関心がある人を対象に、年に2回開催している研修会です。

今回は「身近な材料で作って遊べる簡単工作」と題し、3つの工作を体験していただきました。

参加者からは、「子どもたちが喜びそうなアイデアが満載で大人も楽しめた」「身近な材料でできるのが良かった」「子どもたちと一緒に作りたい」などの感想が寄せられました。



▲工作を楽しむ参加者の皆さん



▲紹介した工作の一部  
・紙コップメリーゴーランド（左）  
・塩で作るカップサンドアート（右）

アンビシャス広場や地域で子どもを育てる活動は、このような研修会で学び、地域に持ち帰って子どもたちと一緒に楽しんでくださるボランティアの方々に支えられています。次回の「かすがアンビネット」は、令和8年度に開催予定です。参加を希望される方は、地域教育課までお問い合わせください。